

すてきな毎日を、いつまでも

もっといしかわ

能登を諦めない。



思いを言葉に、言葉を力に。

メッセージが届いています。

令和6年能登半島地震の発生を受け、石川県ゆかりのみなさんからメッセージが届いています。石川の人や風土を愛してくれる多くの方の思いは、復興を成し遂げる大きな力になります。

一日でも早く
穏やかな日常が
戻ることを
祈っております

元プロ野球選手
松井秀喜

能登半島地震で被災した方々の忍耐力、協調性、前向きな姿を知る度に、同じ石川県人として皆様を誇りに思います。能登の復興と皆様の気持ちを今後も応援してまいります。

PROFILE

能美市出身。巨人、ヤンキースなどで活躍し、09年ワールドシリーズで日本人選手初のMVPを獲得。13年恩師・長嶋茂雄氏と共に国民栄誉賞受賞。



みんなで一緒に
乗り越えましょう

声優
寺島拓篤

石川県にお住まいの皆様、それぞれ異なる状況で大変な思いをされていることと思います。同じ地に生まれた者として、心はいつもそばにいます。一緒に乗り越えましょう。

PROFILE

宝達志水町出身。主な出演作は「わんだふるぷりきゅあー!」(兎山悟役)、「ウルトラマンタイガ」(ウルトラマンタイガの声)。



元日に発生した令和6年能登半島地震は、輪島市、志賀町で県内観測史上最大の震度7を記録するなど県政史上未曾有の大災害となりました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆さま方に対して心からお見舞い申し上げます。

また、上下水道、電気、通信といったライフラインの損傷や、のと里山海道、国道249号等の道路の崩壊、液状化現象の発生のほか、河

シンガーソングライター
松任谷由実

能登半島はアルファベットの“F”の文字。
Forever, Friends, Furusato,

目に見える姿形はたとえ失われたとしても、心に刻まれたふるさとや大切なひとを、何ものも奪うことは出来ない。

今はどんなに苦しくても、あなたを育てたその場所は、やさしく美しい風土であるのを忘れないで。

私も決して忘れないから。

PROFILE

1972年デビュー。ユーミンの愛称で親しまれる。「やさしさに包まれたなら」「春よ、来い」等数々の名曲を生み出す。2022年に50周年を迎えた。



石川県の皆様
一緒に頑張りましょう

大相撲力士
遠藤聖大

どうか、今日を生き抜く事だけを考えて一緒に頑張りましょう。復興は必ずなされます、それが一刻も早い事を心よりお祈り申し上げます。また、復興支援に尽力されている皆様に深く敬意を表します。

PROFILE

穴水町出身。現役大相撲力士。2024年初場所ではふるさとに元気を届けたくて、故郷にゆかりのある化粧まわしを多くつけた。



一日も早い復興を
心より
お祈り申し上げます

バスケットボール選手
赤穂ひまわり

今こそみんなで手と手をとりあい、全員が不安な気持ちを抱えることなく、心から安心して暮らせる日々が訪れることを願っています。一歩ずつ、難しいときには半歩ずつ、前進していきましょう。

PROFILE

七尾市出身。2017年にデンソーアイリスに入団し、第90回皇后杯全日本選手権で初優勝を経験。2020東京五輪では日本の銀メダル獲得に貢献。



毎日、石川の事を
思い続けています

レスリング選手
金城(川井)梨紗子

被災地の方々、引き続き余震と二次災害にはどうかお気をつけください。毎日、地元石川の事を思い続けています。先のことを考えると辛くなると思いますが、で、「今」を生きてください。ずっと応援、協力します。

PROFILE

津幡町出身。至学館高校、大学卒。2016年リオ五輪、2020東京五輪で優勝し大会2連覇を達成。



どんな姿でも、
石川県が
大好きです!

レスリング選手
恒村(川井)友香子

あの日以降、先の見えない日々で辛く不安な毎日を過ごしていると思います。でも今は先のこととは考えず、1日1日を踏ん張って生きてほしいです。少しずつでも前を向いていきますように。石川県がどんな姿でも、私は石川県が大好きです!

PROFILE

津幡町出身。至学館高校、大学卒。2020東京五輪で金メダルを獲得。



で取り組んでいます。

能登の復旧・復興は、これまで本県が経験したことのない長く険しい道のりとなりますが、被災者、被災者、事業者の声をしっかりと受け止め、一日も早く、被災者の生活と生業を再建し、能登の創造的復興の実現に向け、私が先頭に立って、全庁総力を挙げて取り組んでいく決意です。

石川県知事 馳浩

それぞれの思いを胸に

復興に向けた活動の記録。

被災地で、避難所で、今いる場所で。たくさんの人々が被災地や被災者のために立ち上がり、知恵や技術、思いを持ち寄り活動を行っています。一人ひとりが今自分にできることを考え、実践することで、小さな力が大きな力に変わります。



詳しくはWebで公開中

ピンチをチャンスに

「能登かき」を全国区へ



『下村水産』代表 浅井 絢美さん

カキ養殖が盛んな七尾市では、名産である「能登かき」の養殖が大きな被害を受けました。出荷の最盛期を迎えたカキが津波で流され、多くの養殖設備が損壊。そんな中で『下村水産』の浅井さんは、カキ棚の修復を進めながら、再起に向けて歩み始めています。「ありがたいことに応援購入が増えている。今後は設備の損壊で販売ができない業者とも連携しながら、能登かきの魅力を発信していきたいです」。そう話す浅井さんは、能登の水産業の創造的復興を見据え、ブランド価値を高める商品の開発も模索しています。

炊き出しから派生される地域コミュニティー



災害緊急支援ネットワーク『OPEN JAPAN』ボランティアスタッフ 川島 莉生さん

日本全国にネットワークを持つ災害支援チーム『OPEN JAPAN』の一員として、これまで多くのボランティア活動に従事してきた川島さん。海外への長期渡航を控えていたにも関わらず、地震発生の3日後には現地入りし、炊き出しの調整役として支援者の受け入れなどを行ってきました。「日頃から地域の横のつながりを強めることで災害時も支え合える。炊き出しはそうしたコミュニティーづくり場でもあるんです」と川島さん。炊き出し需要が落ち着いた今後は、壊れた家屋の再生にも取り組んでいくようです。

『能登高校』1年 灰谷 悠翔さん(左)、南山 玄英さん(右)

人手不足が深刻な被災地では、若い力が躍動します。能登町小木では、地元の高校生が避難所の運営を手伝うチームを結成。自身も避難所生活を強いられる中、物資の仕分けや食料の運び出しなどを率先して行い、避難する人々の生活を支えてきました。「少しでも場の雰囲気や和ませたくて、段ボールベッドに絵を描いたりもしました。いろんな人から感謝されるのがうれしかったですね」と灰谷さん。二人は高校の授業が再開して以降も合間の時間で避難所を訪れ、物資の仕分けなどを手伝っているそうです。



明るく、楽しく避難所を支える高校生コンビ

被災者の気持ちに寄り添った

こころのケアを



『金沢赤十字病院』看護師 松田 慧さん

地震発生後、「日赤看護班」の一員として珠洲市に派遣された松田さんは、刻々と変化する被災地の医療ニーズに対応しながら、避難者の診察補助や心のケアにあたりました。避難所では物資や設備、衛生面などの状況をアセスメント。その情報は県にも共有され、現実的な支援へとつながっていきました。「災害がもたらす精神的な影響は想像以上

上。ささいな事でも被災者の声に耳を傾けるよう心がけました」と松田さん。任務を終えた現在は、能登の病院から移ってきた患者さんの心のケアも行っています。



若き職人の仕事を守り輪島塗の伝統をつなぐ

『田谷漆器店』代表 田谷 昂大さん

能登半島地震により壊滅的な被害を受けた輪島塗業界。200年の伝統を誇る『田谷漆器店』もまた、自社工場の全壊により製造中止を余儀なくされています。そんな中で代表の田谷さんは、輪島全体の漆器店で被災を免れた輪島塗の代理販売を開始。また、輪島塗業界の立て直しを目的としたクラウドファンディングも立ち上げました。「この業界には若い職人も多い。輪島塗の伝統をつなぐためには、若手の仕事を確保するのが大事だと考えました」。4月には被災した職人の作業場となる仮設工房が完成予定です。



水道の早期復旧を目指し市内を駆け巡る



『株式会社シラヤマ』配管工 桜井 蓮太さん

地震の影響により能登地方の主要浄水場が多数被災。長期化する断水が生活再建の妨げとなっています。「自分が住んでいる家も断水していて、お風呂に入れないうつらかったですね」と桜井さん。県内では、今もなお一日も早い復旧に向けた懸命の作業が続けられています。

各種相談窓口
お気軽にご相談ください

※内容によって、市町等関係機関の窓口をご案内します

① 被災地外、ホテル・旅館への避難	2次避難所運営事務局 コールセンター ☎0120(266)755
② 仮設住宅入居 住宅再建	土木部建築住宅課 ☎076(225)1777
③ 生活費	健康福祉部厚生政策課 ☎076(225)1478 県社会福祉協議会 ☎076(208)3503
④ 医療	健康福祉部医療対策課 ☎076(225)1431
⑤ 健康	健康福祉部健康推進課 ☎076(225)1458
⑥ 子育て支援	健康福祉部少子化対策監室 ☎076(225)1447
⑦ 高齢者福祉	健康福祉部長寿社会課 ☎076(225)1487
⑧ 障害者福祉	健康福祉部障害保健福祉課 ☎076(225)1426
⑨ 県税	総務部税務課 ☎076(225)1271 市税・町税は各市町の税務担当部署、国税は住所地所管の税務署へそれぞれお問い合わせください。
⑩ 教育	能登半島地震・進路・学習相談テレホン ☎0120(873)783
⑪ 事業者支援 (補助金・融資等)	ワンストップ相談窓口 ☎0120(330)955 能登事業者支援センター ☎0768(26)2380
⑫ 雇用・就労	いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC) ☎076(225)4540
⑬ 農業者・漁業者支援	JAのと本店 ☎0120(338)250 JA内浦町営農経済課 ☎0120(338)560 JA能登わかほ旧徳田支店 ☎0120(338)570 JA志賀本店 ☎0120(338)720 県珠洲農林事務所 ☎0120(338)760 県農業会館 ☎0120(338)633 農林水産部森林管理課 ☎076(225)1643 県漁業協同組合(本所) ☎076(234)8815
⑭ 消費者トラブル	消費生活支援センター ☎076(255)2319
⑮ 外国人支援	観光戦略推進部国際交流課 ☎076(225)1382 県災害多言語支援センター(県国際交流協会) ☎076(262)5932
⑯ 性暴力・DV・女性の悩み	いしかわ性暴力被害者支援センター☎#8891 県配偶者暴力相談支援センター☎#8008 県女性相談支援センター☎076(223)8655

令和6年 能登半島地震の被害

2024年1月1日午後4時10分、能登地方で発生した最大震度7の地震は、奥能登を中心に甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。

データで知る能登半島地震

M7.6
最大震度7

死者 241人
うち災害関連死疑い15人

安否不明者 5人

負傷者 1,188人
重傷312人 軽傷876人

住家被害 80,640棟
全壊・半壊・一部破損・床上浸水・床下浸水

避難者 最大 34,173人
3月12日時点 9,760人

停電 最大 39,900戸
3月12日時点 240戸 現在復旧作業中

携帯支障 最大 70~80%
3月12日時点 1%以下

断水 最大 110,000戸
3月12日時点 15,170戸

参考

平成19年能登半島地震の被害

- 地震規模 M6.9 (最大震度6強)
- 死者 1人
- 負傷者 338人
- 住家被害 29,382棟

輪島市 最大震度7

人口 21,903人
世帯数 9,235世帯

死者 102人
震災関連死疑い3人

負傷者 516人

住家被害 14,770棟

志賀町 最大震度7

人口 17,239人
世帯数 7,296世帯

死者 2人

負傷者 103人

住家被害 6,940棟

珠洲市 最大震度6強

人口 11,721人
世帯数 5,283世帯

死者 103人
震災関連死疑い6人

負傷者 249人

住家被害 8,676棟

能登町 最大震度6強

人口 14,277人
世帯数 6,206世帯

死者 8人
震災関連死疑い6人

負傷者 35人

住家被害 6,156棟

穴水町 最大震度6強

人口 7,312人
世帯数 3,197世帯

死者 20人

負傷者 257人

住家被害 4,027棟

七尾市 最大震度6強

人口 47,198人
世帯数 20,075世帯

死者 5人

負傷者 3人

住家被害 16,213棟

道路が崩落し、奥能登へのアクセスルートが遮断

県が管理する道路では最大42路線87カ所で通行止め(1月4日時点)

金沢～能登間の道路通行状況

△=道路に大きな被害(3月12日時点)



国道249号
複数箇所で大規模な被災

震央
1月1日午後4時10分ごろ
最大震度7 M7.6



受付時間/午前9時～午後5時45分
(①②は午後6時まで、③④は午後5時まで、土日祝対応)

最新の支援制度相談窓口

※人口・世帯数は1月1日時点
死者・負傷者・住家被害は県で取りまとめる「被害等の状況について」第108報(3月12日時点)より

応急復旧と 創造的復興に 全力で取り組みます

発災直後から、県は国や全国の自治体、自衛隊からの支援を受けながら、人命救助やインフラの確保、物資の支援、避難所などでの生活支援に全力で取り組んできました。しかし、今もなお多くの方々が避難生活を余儀なくされているほか、観光や伝統工芸など産業への被害も深刻で、事業者は大きな打撃を受けています。こうした状況を踏まえ、県当初予算が過去最高の1兆円超に決定。このうちの5割超の約5600億円を生活の再建、生業の再建、災害復旧の3つを柱にした地震対応に充てています。

また、発災から1カ月となる2月1日には「石川県令和6年能登半島地震復旧・復興本部」を設置し、創造的復興に向けた基本方針を示しました。一日も早く被災者の生活と生業を取り戻し、能登の創造的復興を実現できるよう、全力で取り組んでいきます。



飯田港(珠洲市)を視察する馳知事

住まい について

ニーズに応じた3タイプの応急仮設住宅を建設

これまで迅速かつ大量に供給できるプレハブ型の建設を進め、熊本地震を上回るペースで着工。今後は、地域のニーズを踏まえ、一定期間住み続けることを前提とした仮設住宅を整備していきます。木造の長屋を市街地などのまとまった空き地に建設する「熊本モデル」は3月末までに約600戸の着工を

目指します。さらに、木造戸建風の建物を集落の空き地に建設する「石川モデル」も建設予定です。仮設住宅には、梅雨前までには要望を伺い、夏ごろまでにはおおむねご入居いただきたいと考えています。入居を希望される方は、災害時に居住する各市町の担当窓口へ直接お問い合わせください。



プレハブ型(従来型)

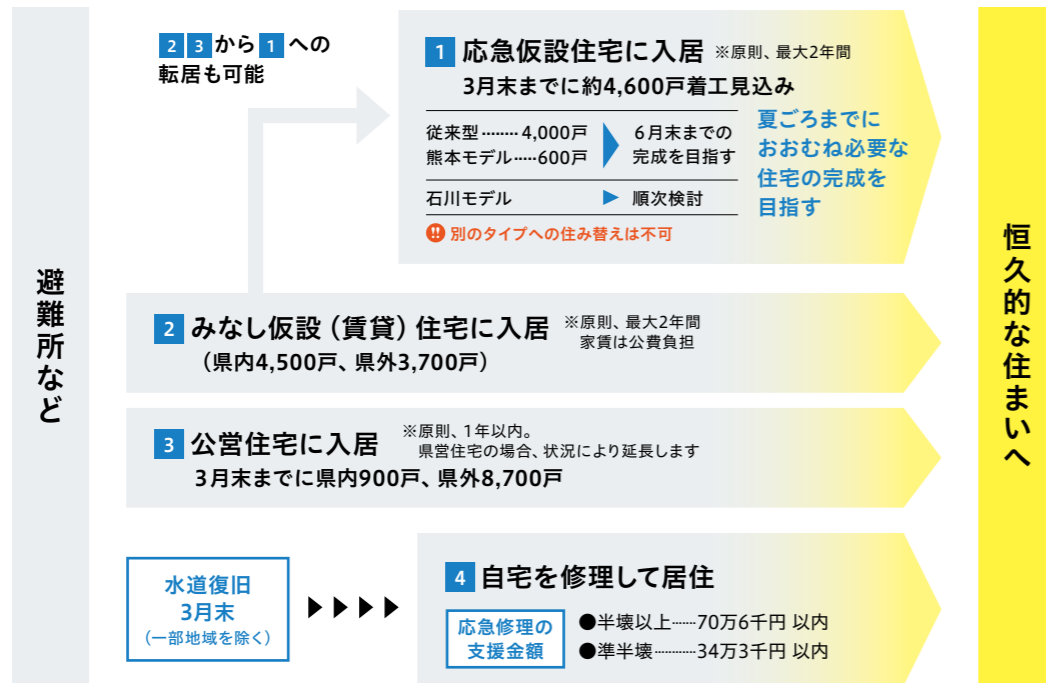


まちづくり型(熊本モデル)



ふるさと回帰型(石川モデル)

賃貸住宅や公営住宅も含め3月末までに2万2千戸を確保



恒久的な住まいへ

今後の住まいについて不安を抱える方々が多い中、県では被災者や市町のニーズを伺いながら、住まいの確保に向けた支援を進めています。



詳しくはこちら

創造的復興に向けた基本方針

理念

- 必ず能登へ戻す
- 単なる復旧にとどめず、人口減少など課題を解決しつつ、能登ブランドをより一層高める「創造的復興」を目指す

原則

- 被災地の住民・事業者の声を聞く
- 若い世代の力の活用
- 人口減少などこれまでの課題の解決
- 民間・外部の力の活用

6つの柱

1 インフラの早期復旧・強化



2 農林水産業、伝統産業、観光産業など能登の特色ある生業の再建



3 暮らしと地域コミュニティの再建



4 危機管理、安全・安心の充実



5 今回の地震の教訓を踏まえた災害に強い地域づくり



6 能登ブランド強化に向けた創造的復興リーディングプロジェクトの創出



※第1回石川県令和6年能登半島地震復旧・復興本部会議資料より

被災地や有識者の声をお聞きし、「復興プラン」を策定

能登には、豊かな食、温泉、伝統工芸、世界農業遺産といった自然や文化と、特色ある生業が重なり合った独自の魅力があります。現在、こうした「能登ブランド」の魅力を一層高める創造的復興を目指し、「復興プラン」の策定を進めてお

り、3月には被災地の方々や有識者の声をお聞きし骨子案をお示しました。今後、具体の事業を盛り込むなど骨子に肉付けする作業を行い、6月議会の前までには、最終的な復興プランの案として取りまとめる方針です。



詳しくはこちら



被災地の支援を 願います

災害ボランティア募集中

これまでも多くの皆さまに活動いただき、誠にありがとうございました。被災地の復興に向け、皆さまの活動が「希望の光」となっています。ボランティア活動にご協力いただける方は、特設サイトをご確認ください。



災害義援金募集中

皆さまからの温かいご支援に感謝申し上げます。お預かりした義援金は、県災害義援金配分委員会の決定に基づいて、順次公平に配分します。

※詐欺などの犯罪にご注意ください。国・県・市町が手数料やATMの操作をお願いすることは絶対ありません。

第1次配分対象者(①②の2種類)

- ① 人的被害・住家被害を受けた方
- ② 2024年1月1日時点で、七尾以北6市町に住居登録されていた方

申請・問い合わせ

- ① 各窓口(2次元コード参照)
- ② コールセンター(午前9時~午後6時)
☎0120-1102-829



今後も、復興に向けた取り組みを誌面でご紹介していきます。